

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2006-114467(P2006-114467A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-357782(P2004-357782)

【国際特許分類】

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 E

F 2 1 V 8/00 6 0 1 D

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月10日(2007.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

光を発生する複数の発光部材と、

前記光が入射される光入射面、前記光入射面と対向する側面、及び前記光入射面と前記側面を連結し、前記入射された光が出射される光出射面を有する導光板と、を含み、

前記光入射面は、前記光入射面の中央部に形成され前記発光部材のうちの最小限 1 つが配置される傾斜面を含むことを特徴とする光照明ユニット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 5】

光を発生する複数の発光部材を含む光発生部と、

前記光が入射される光入射面、前記光入射面と対向する側面、及び前記光入射面と前記側面を連結し、前記入射された光が出射される光出射面を有する導光板と、

出射された光の入力を受けて画像を表示する液晶表示パネルと、

前記光発生部、前記導光板、及び前記液晶表示パネルを収納する収納容器と、を含み、

前記光入射面は、前記光入射面の中央部に形成され前記発光部材のうちの最小限 1 つが配置される傾斜面を含むことを特徴とする液晶表示装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

前述した本発明の第1目的を達成するための一特徴による光照明ユニットは、複数の発光部材及び導光板を含む。前記発光部材は光を発生する。前記発光部材は、例えば発光ダイオードである。前記導光板は、前記光が入射される光入射面、前記光入射面に対向する側面、及び前記光入射面と前記側面を連結し、前記入射された光が出射される光出射面を有する。ここで、前記光入射面は、前記光入射面の中央部に形成され前記発光部材のうちの最小限1つが配置される傾斜面を含む。前記光入射面と前記側面との間の離隔距離及び角度関係は、前記発光部材のどのものに対応する部分かによって互いに異なる。例えば、前記光入射面は、前記側面と平行な第1面、前記第1面の一侧に隣接して形成され、前記側面に対し傾斜する第2面、及び前記第1面の他側に隣接して形成され前記側面に対し傾斜する第3面を含む。前記光入射面は、第1光入射面、及び前記第1光入射面に隣接して平行に形成された第2光入射面を含むことができる。又、前記光入射面は、前記第2光入射面に隣接して平行に形成された第3光入射面を更に含むことができる。前記発光体は、前記第1乃至第3面に光を入射するように配置されることができ、傾斜面である前記第2及び第3面にのみ光を入射するように配置されることがもできる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前述した本発明の第2目的を達成するための液晶表示装置は、光発生部、導光板、液晶表示パネル、及び収納容器を含む。前記光発生部は、光を発生する複数の発光部材を含む。前記導光板は、前記光が入射される光入射面、前記光入射面と対向する側面、及び前記光入射面と前記側面を連結して前記入射された光が出射される光出射面を有する。ここで、前記光入射面は、前記光入射面の中央部に形成され前記発光部材のうちの最小限1つが配置される傾斜面を含む。前記光入射面と前記側面との間の離隔距離及び角度関係は、前記発光部材のどのものに対応する部分かによって互いに異なる。前記液晶表示パネルは、出射された光の入力を受けて画像を表示する。前記収納容器は、前記光発生部、前記導光板、及び前記液晶表示パネルを収納する収納容器を含む。